

高等教育の無償化へ 緊急の対策をとめます

ただちに学費半額・入学金ゼロ
奨学金を給付中心に、奨学金返済の半額免除

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

〔請願趣旨〕

「学費は値下げを」「奨学金の返済が大変」——日本は世界でも異常な高学費の一方、奨学金は貸与＝借金が中心で、半数は有利子です。若者が背負う奨学金の貸与総残高は約10兆円にのぼり、返済が生活や将来の障害となっています。

OECD（経済協力開発機構）加盟国で最低水準の高等教育への公的財政支出を続け、学費値上げを進めてきた政治の責任は重大です。

日本社会の発展の基礎であり、国際社会の目標でもある学費無償化に向けてすすむために、緊急対策が必要です。学費は世界でも異常な高さです。入学金は、世界に例がなく、高額で合理的な理由もありません。奨学金は、国民の教育を受ける権利を保障するもので給付を基本にすべきです。

以下の項目を請願します。

〔請願項目〕

- 1、国の助成で、ただちに国公立すべての授業料（大学・短大・専門学校）を半額にすること
- 2、大学・短大・専門学校の入学金をなくすために、国は必要な措置をとること
- 3、本格的な給付奨学金（75万人に自宅生月4万円、自宅外生月8万円）をつくること
- 4、国が拠出して、貸与奨学金の返済を半額免除すること

氏名	住所

【 取り扱い団体 】